

## 第 28 回 岩手県環境審議会水質部会 会議録 [要旨]

### 1 開催日時

平成 29 年 11 月 6 日 (月) 14 : 00 ~ 14 : 40

### 2 開催場所

岩手県民会館 4 階 第 3 会議室

### 3 出席者

#### 【審議会委員 (敬称略、50 音順)】

生 田 弘 子  
石 川 奈 緒  
伊 藤 歩 (部会長)  
後 藤 均  
山 崎 朗 子

#### 【特別委員 (敬称略、50 音順)】

瀧 川 利 美 (代理 : 鈴 木 宏)  
真 鍋 郁 夫 (代理 : 長 尾 親 子)  
渡 邊 泰 也 (代理 : 立 花 義 則)

#### 【事務局員 (岩手県環境生活部環境保全課)】

総括課長	小野寺 宏 和
環境調整担当課長	八重樫 満
主任主査	菊 池 恭 志
技 師	吉 田 拓 司
技 師	千 葉 大 介

### 4 議 事

#### (1) 審議事項

米代川における水生生物保全環境基準の類型指定について  
(資料により事務局から説明)

#### ○伊藤部会長

それでは委員の皆様から意見、御質問等ありましたらお願い致します。

#### ○生田委員

資料 1-2 の 7 ページ 5 (2) に、米代川全域で漁業権が設定されていると書いてありますが、これは岩手県側及び秋田県側の全域で漁業権が設定されているということでしょうか。

#### ○事務局

岩手県側及び秋田県側で上流、中流、下流それぞれに漁業権が設定されております。

#### ○生田委員

評価項目等の情報は、各漁連さん等で経年調査をしていたもの、ということでしょうか。類型を指定するにあたり、新たに調査したものでしょうか。

○伊藤部会長

項目とは。

○生田委員

水質です。生活環境項目に、底層溶存酸素量が含められたということも書いてありますが、今までは測定していなかった、ということでしょうか。

○事務局

最初に全亜鉛、続いて24年8月にノニルフェノール、25年3月にLASが基準に設定されたことから、環境基準点等において、県で測定を行っておりました。県際水域は、関係自治体と同時期に指定することとなっているため、関係自治体の準備が整うまでの間、データ収集を続けてきたものになります。

○生田委員

データのすり合わせ等の作業は、これまで両県が何度となく合同の話し合いを持って下さったものと思いますが。

○事務局

これまで続けていたものです。

○伊藤部会長

資料1-2の12ページに、化学物質等の過去のデータが記載されています。LASに関しては過去3年間のデータがあるということですね。底層溶存酸素量については河川については当てはまらないということですか。

○事務局

現在、環境省で類型指定方法等の検討がなされているため、測定できていないものです。

○伊藤部会長

他にいかがでしょうか。

(委員から異議なし)

○伊藤部会長

それでは米代川の類型指定については事務局の案で進めさせて頂くということでよろしくお願い致します。

(2) その他

○伊藤部会長

その他ございましたらよろしくお願い致します。

○生田委員

今後実施予定の他の県際水域の類型指定の際にも関係自治体との調整があるものと思いますが、およそ何年必要になるか、目途はありますか。

○事務局

県際水域の場合、自治体毎に準備が必要となります。岩手県側については、類型指定の準備を整えております。関係自治体の方で、県際水域に限らず他にも類型指定に取り組んでいる場合、それらの優先順位があるかと思えます。関連自治体の準備が整い次第、今回同様に同時期の指定に向け調整したいと思えますので、何年後かというところは計画が無い状態でございます。

○生田委員

他に県境で関わっている水域はありますか。

○事務局

青森県境にある新井田川の世増ダムは、現在河川として類型指定されていますが、実際は人口湖になっております。水質も安定してきているかと思われますので、湖としての類型見直しを考えております。これについても青森県さんと調整しながら進めたいと考えております。

○伊藤部会長

他にいかがでしょうか。それではこれを持ちまして審議を終了したいと思います。ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

○事務局

ありがとうございました。なお本日御審議頂いた類型指定については2月上旬開催予定の環境審議会では部会長から報告頂きたいと思えます。なお今後の水質部会のスケジュールに関して、1月の中旬頃に、公共用水域の測定計画等について御審議願いたいと考えてお

りますので、その際はまた御連絡致します。以上で水質部会を終了させていただきます。ありがとうございました。